

令和7年第7回豊山町教育委員会定例会会議録

1 開催日時 令和7年7月4日（金） 午前9時30分から午前10時03分まで

2 開催場所 豊山町役場 3階 会議室3

3 出席者	教育長職務代理者	佐藤 正 司
	教育委員	後藤 明 美
	教育委員	鈴木 森 晶
	教育委員	志水 千 鶴

説明のため出席した職員

事務局長	小塚 和 宣
教育参事	山中 洋 子
生涯学習課長	青井 宏 司
教育専門員	渡邊 亘 宏

4 傍聴者 なし

5 議 題 日程第1 前回会議録の承認

日程第2 事業報告

日程第3 付議案件

（1）議案第23号 令和8年度使用 小中学校教科用図書の採択について ※秘密会

（2）報告第16号 小中学校夏休みの指導計画について

（3）報告第17号 豊山町子ども読書活動推進計画（第4次）策定に向けたアンケート調査について

日程第4 その他

6 議事内容

開会の宣告（午前9時30分）

佐藤職務代理者： 皆様おはようございます。

梅雨も近畿地方まで明けたようで、この地方では連日猛暑が続いており、いつ梅雨が明けるのかというところです。

7月も中旬に近づいてきて、学校行事での熱中症にはくれぐれも気を付けていただきたいと思います。また、夏休み前にやらなくてはいけないこともたくさんあると思いますので、抜かりの無いようによろしくお願いします。

また、新栄小学校プールについては、速やかな対応で授業に支障のないようにしていただきましてありがとうございます。学校プールに対する考え方も、今後いろいろ出てきますので、各学校に1つずつなくとはいけないものかという論議も含めて、長期的な視野での検討事項になるかと思います。

気になっていることは、連日、ニュースになっている教員の不祥事報道です。子どもたちへの先生の行いによって学校不信につながっていきますので、ご理解いただいているとは思いますが、今一度徹底していただきたいと思います。

また、学校でのルール作りについてです。スマートフォンで撮った写真がどう使われるかということです。先生を信用していないわけではありませんが、教室内ではスマートフォンを使用しない、学校所有のカメラを使用する、撮影した写真は他の職員が確認する等の対策を整備していただきますことをお願いして、会議に入りたいと思います。

それでは、ただいまから令和7年第7回豊山町教育委員会定例会を開会します。

【日程第1 前回会議録の承認】

佐藤職務代理者： 議事に入ります前に、事前に配付させていただいた、令和7年6月6日（金）に開催いたしました令和7年第6回豊山町教育委員会定例会の会議録は、このまま承認してよろしいですか。

（「異議なし」の声）

佐藤職務代理者： 令和7年第6回豊山町教育委員会定例会の会議録は、承認をいたしますので、閉会後に委員の皆様のご署名をお願いします。

【日程第2 事業報告】

事務局長： 前回定例会からこの間の事業報告をいたします。

令和7年6月7日（土）から令和7年7月4日（金）までの事業報告でございます。

6月10日（火）から11日（水）まで豊山中学校2年生の自然体験学習が滋賀県近江八幡で行われました。天候に恵まれず2日間とも雨天でした。残念ながら初日のキャンプファイヤーは中止となりましたが、2日目の午後は天気が良くなったため楽しみにしていたイカダ教室は実施することができました。

6月18日（水）に第3回町民体育大会実行委員会が開催されました。

6月26日（木）に新栄小学校で学校訪問が行われました。教育委員の皆様にもご参加いただきました。

6月30日（月）に第1回豊山町青少年育成会議が開催されました。

年間のパトロール及び啓発活動の取組について協議されました。

7月3日（木）に町内校長会議が開催されました。

なお、6月2日（月）から16日（月）までの15日間に6月議会が開催されました。1つ目に、教育委員会に関する一般質問は大きく6つについての質問が提出されました。ちなみに、教育長不在に関しての町長答弁につきましては、議会への丁寧な情報提供と事前の意見交換を行ったうえで次回定例会までに提案すると答弁しております。その他の質問及び答弁内容の要旨につきましては、別添で配付しております一覧表にまとめておりますので、後程ご確認をお願いします。2つ目に、教育委員会に関する議案として、歳入の国庫補助金教育支援体制整備事業補助金1万1千円を補正予算として提出し、議決されております。内容としては、不登校児童生徒等の学び継続事業の内定を受けての歳入増額補正で、不登校の未然防止、早期発見のリーフレットを作成する印刷製本費に対する補助金となります。

事業報告は以上となります

【日程第3 付議案件】

佐藤職務代理者： それでは、付議案件に入ります。

「議案第23号 令和8年度使用 小中学校教科用図書の採択について」は、豊山町教育委員会の会議に関する規則第13条の規定によるその他の事件ですので、後程、秘密会で審議することでご異議ありませんか。

（異議なしの声）

佐藤職務代理者： それでは、議案第23号は、後程、非公開で審議をいたします。

続いて、「報告第16号 小中学校夏休みの指導計画について」、事務局から説明をお願いします。

教 育 参 事： —説明—

事務局より説明がありました。ただいまの説明について、何かご意見、ご質問はございますか。

ご意見等ないので、続いて、「報告第17号 豊山町子ども読書活動推進計画（第4次）策定に向けたアンケート調査について」、事務局から説明をお願いします。

生涯学習課長： —説明—

佐藤職務代理者： 事務局より説明がありました。ただいまの説明について、何かご意見、ご質問はございますか。

私からよろしいですか。アンケートで世代住民アンケートは年齢ごとに4区分というのは分かりましたが、どのようにアンケートに回答する

のですか。WEBで回答するのは分かるのですが、どのように対象者を選んで、回答用紙を送るのかを説明してください。

生涯学習課長： 住民用アンケートにつきまして、0歳から6歳の保護者には保育園と幼稚園を通じて配布してもらおうと考えています。

佐藤職務代理者： 保育園と幼稚園を通じてということは、保育園と幼稚園に通う園児の保護者全員を対象とするのですか。

生涯学習課長： そうです。小中学生とその保護者に対しては、ホーム&スクールで掲載し、回答してもらおうと考えています。高校生に関しましては、紙でご自宅への郵送を考えています。

佐藤職務代理者： Google フォームから回答するということはQRコードを読み取って回答するわけですね。

生涯学習課長： そうです。QRコードを付けます。

佐藤職務代理者： アンケートフォームの参考資料があると説明がありましたが、どの資料ですか。

後藤委員： アンケート内容を表にまとめたものですね。

生涯学習課長： はい、これが参考資料で、アンケート内容は0歳から6歳の事例となります。

後藤委員： 質問はQで、回答は選択して選ぶのですね。

佐藤職務代理者： そうやって見るのですね。

鈴木委員： これは保育園と幼稚園のアンケート内容ですが、小中学生用のアンケートは同じものか異なるのかどちらでしょうか。高校生用を含めて教えてください。

生涯学習課長： 多少異なる部分もあります。

鈴木委員： これは保護者用の内容ですので、方向性も異なるのですか。小中学生の保護者用であればよいと思いますが、ターゲットが小中学生だとどうかと思います。

事務局長： 質問ターゲットが小中学生の場合、対象者に合わせて変更します。

鈴木委員： 質問する内容は大体同じものですか。

事務局長： そうです。

鈴木委員： 分かりました。

後藤委員： アンケートをすることはいいですが、ホーム&スクールへの掲載で回答してもらおうとすると、小中学生保護者にはどのように周知するのですか。ホーム&スクールに掲載することでほとんどの保護者が見るという環境であればいいのですが。

事務局長： 児童生徒と保護者は全て登録しています。

後藤委員： でも、見ていない人も多分いると思います。私も見ていないことがあ

ります。私の場合、何かあった場合、スマートフォンでパッと出てくるのですが、実際はどのように出てくるのですか。

生涯学習課長： 広報での周知をするかどうかは分かりません。

後藤委員： 広報での周知のことではなく、小中学生とその保護者がアンケートのことを知る機会がないと、あまり実益がないアンケートとなってしまうので、その部分はどう考えているのですか。それとまだ期間はあるのならもう少し考えて欲しいです。

志水委員： 私は見ますが、3人登録しているので、3人分見ようとすると結構な手間ですね。

佐藤職務代理者： 設問数もかなりあります。アンケートに答えようとすると時間が掛かりますよ。

事務局長： 校長会議でもその話題が出まして、紙でも配布しようかということをご提案しましたが、ホーム&スクールで周知すれば、大半の方には見ていただけるという意見をいただきましたので、現時点ではホーム&スクールでの周知しか考えていませんが、紙での周知も検討します。

志水委員： 紙でアンケートがありますという周知だけでも良いと思います。紙は子どもが親に渡さないこともあります。

後藤委員： 広報とよやまに掲載しても見ない人は見ないですね。

佐藤職務代理者： ホーム&スクールはアプリなのですか。

事務局長： アプリです。

佐藤職務代理者： 子どもが答える場合も、親のスマートフォンを使用して回答するわけですね。

事務局長： そうです。

佐藤職務代理者： 子どもが3人いるご家庭は、子ども3人がそれぞれ答えるわけですね。

事務局長： はい。確かに大変そうですね。

佐藤職務代理者： 子どもの名前、学年等で区別してサンプルが3つできるわけですか。

志水委員： 以前、子どもの部活動地域移行のアンケートもホーム&スクールで回答しました。その時は最初に子どもの年齢と学年を入力しました。

佐藤職務代理者： 3回入力したのですね。

志水委員： 1回で3人分入力できると助かります。

佐藤職務代理者： 7歳から15歳まで同じアンケートフォームを使うと、サンプルの取り方が違ってくるのではないですか。

志水委員： 先程取り上げた子どもの部活動地域移行アンケートの最後に、その他の自由記述項目があり文章を入れようとした時、文字数制限がありましたが、文字数が少なすぎて自分の意見が書ききれませんでした。今回も文字数の制限があり、入力できる文字数は少ないのですか。

生涯学習課長： どのくらいの文字数が入るか把握していないので、担当者に確認します。

志 水 委 員： もう少し改善してもらえると助かります。質問がもう1つあります。家庭内での読み聞かせ項目については、未就園児等の保護者にしか質問しないのですか。小学生への読み聞かせ会を強化するとしている中で、小中学生やその保護者への質問をしない理由はありますか。

事 務 局 長： 読み聞かせ会等で活動されている方もいらっしゃいますので、もう一度検討します。

後 藤 委 員： 質問が多くないですか。

事 務 局 長： 多いと思いますが、質問については生涯学習審議会委員の皆さんの意見を取り入れて、このような形になりました。

志 水 委 員： 部活動地域移行の時も質問数がかなりありました。ちなみに部活動地域移行調査の回答率はどのくらいだったのですか。

教 育 参 事： 確認しないと回答できないです。

志 水 委 員： ホーム&スクールで効果があったのなら、今回も使用していいかと思いますが、5割とか3割の回答率だったのなら、見直す方が良いのではないですか。

後 藤 委 員： 答える立場としてはそう思います。

志 水 委 員： 子どもに向けてなのか、親がどういう意識を持っているのかとどちらを主にして聞きたいのか知りたいです。子どもに聞きたいのであれば、みんなタブレットを持っているので、学校で朝の時間を少しいただいて回答する時間を設けて答えてもらえばいいと思います。

後 藤 委 員： そのほうがやってもらえますね。保護者はやってもらうしかないですね。

事 務 局 長： せっかく回答していただくので、少しでも回答率が上がるように工夫します。

佐藤職務代理者： 未就園児の保護者には紙で渡して、QRコードでの回答で間違いはないですか。

生涯学習課長： はい。

佐藤職務代理者： 7歳から15歳までの設問が同じ内容でいいのかと思います。質問対象が4つのくくりしかなく、7歳から15歳まで同じように質問するのは少し乱暴な気がします。小学校1年生と中学3年生が同じ質問なので。

後 藤 委 員： 確かにそうですね。

佐藤職務代理者： 子ども読書活動だから、その辺りをもっと親切にサンプリングしやすくするのが良いです。

他に何かご意見、ご質問はございますか。ご意見等ないようですので、以上で付議案件を終わります。

【日程第4 その他】

佐藤職務代理者： 次に「その他」の事項に入ります。

事務局から、その他報告事項等がありますか。

事務局長： 一次回教育委員会定例会の開催日時について連絡—

佐藤職務代理者： 他に委員の皆様から何かご発言があればお願いします。

(発言なし)

閉会の宣告（午前10時03分）

佐藤職務代理者： ご発言もないようですので、以上で、令和7年第7回豊山町教育委員会定例会、公開による会議を閉会します。

令和7年第7回豊山町教育委員会定例会 次第

日 時：令和7年7月4日（金）

午前9時30分

場 所：豊山町役場 3階 会議室3

1 開会の宣告

2 前回会議録の承認

3 事業報告

4 付議案件

（1）議案第23号 令和8年度使用 小中学校教科用図書の採択について

※秘密会

（2）報告第16号 小中学校夏休みの指導計画について

（3）報告第17号 豊山町子ども読書活動推進計画（第4次）策定に向けたアンケート調査について

5 その他

6 閉会の宣告

報告第16号

小中学校夏休みの指導計画について

令和7年7月21日から始まる豊山町立小学校及び中学校の夏季休業期間中における児童生徒の生活指導計画について、各小学校長及び中学校長より別紙のとおり提出がありましたので、報告します。

報告第17号

子ども読書活動推進計画（第4次）策定に向けたアンケート調査について

子ども読書活動推進計画（第4次）策定に向けたアンケート調査について、下記のとおり実施しますので報告します。

（1）目的

子どもの読書活動のニーズ及び課題の把握を目的とする。家庭教育・社会教育・学校教育の観点から対応策の方向性の確認や検討に活用する。

（2）アンケート対象者

住民用アンケート

対象	方法
0～6歳（保育園・幼稚園）の子どもを持つ保護者	各保育園・幼稚園に配布予定
7～15歳（小中学生）	ホームアンドスクールに掲載予定
7～15歳（小中学生の保護者）	ホームアンドスクールに掲載予定
16～18歳（高校生）	対象宅に郵送予定

担い手用アンケート

対象	方法
町図書室会計年度任用職員	対象者に直接配付
学校図書担当教諭	各学校にメールにて送付
町図書室読み聞かせグループ	対象者に直接配付
学校図書室読み聞かせグループ	各学校にメールにて送付。各学校より対象者に転送

（3）回答方法

Webアンケート（Googleフォーム）

（4）質問案

別紙（質問構成・質問案）を参照

（5）今後の予定

令和7年7月15日～	上記の配布方法により各対象者に送付
8月15日	アンケート締め切り
8月～	アンケートの集計および分析

調査対象毎の質問構成

区分	調査概要	活用の方向性	未就園児等の保護者	小中学生	小中学生の保護者(※)	高校生
共通	回答者の基本的情報（学年、情報収集媒体等）	学年毎の効果的な施策及び周知媒体把握に活用	○	表紙に学年記載し、保護者に情報収集媒体確認するためなし	○	○
共通	保護者の影響調査	保護者と本人の読書環境の相関や影響把握に活用	○	○		○
家庭教育	家庭内での読み聞かせ環境調査	大きく4パターン（①充分読み聞かせしている②読み聞かせしている③読み聞かせしていないが必要性の認識あり④読み聞かせしておらず必要性の認識もない）に状況を分類した上で、必要な施策検討に活用	○			
共通	本人の読書環境調査	大きく4パターン（①充分読書している②読書している③読書していないが必要性の認識あり④読書しておらず必要性の認識もない）に状況を分類した上で、必要な施策検討に活用		○		○
社会教育	町図書室の環境調査	町及び町外の図書館の強み・弱みを把握し、効果的な施策検討に活用	○	○	○	○
学校教育	学校図書室の環境調査	学校図書室の強み・弱みを把握し、効果的な施策検討に活用		○		○
社会教育	読み聞かせ会の調査	読み聞かせ会の強み・弱みを把握し、効果的な施策検討に活用	○			
（参考）最大・最小回答数			最大：27問 最小：15問	最大：30問 最小：17問	最大：15問 最小：7問	最大：29問 最小：15問

※：保護者から見た本人の読書量の設問も検討したが、本人の回答と保護者の回答が異なる場合が想定され、保護者から見た本人の状況が必ずしも正しいとは限らないことから、同設問は設けないこととした。

保育園・幼稚園児の保護者

区分	調査概要	質問の意図	番号	質問	選択肢						
共通	回答者の基本的情報	回答者毎の属性を把握し、課題整理等に繋げるため	Q1	お子様の年齢は次のうちどれに当てはまりますか	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳
		同上	Q2	【主で育児をされている保護者の方がご回答ください】 あなた（回答者）は次のうちどれに当てはまりますか	父親	母親	祖父	祖母	その他 ()		
		同上	Q3	あなたはどの年代ですか	10代	20代	30代	40代	50代	60代	その他 ()
		効果的な情報提供媒体を把握するため	Q4	普段どのように行政の情報（イベント等）を知りますか ※2つまで選択してください	広報誌（広報とよやま・生きがいタウン）	ホームページ	LINE等のSNS	家族・友人等から聞く	新聞	その他 ()	
家庭	保護者の影響調査	保護者の読書環境が読み聞かせに与える影響を調べるため。なお、正の相関関係が認められれば保護者を交えた施策を検討する。	Q5	直近1年間の状況についてお伺いします。あなた（家庭内の他の保護者含む）はどれくらいの頻度で本（雑誌、マンガ、記事除く）を読みましたか ※「数カ月に1日」「読まない」を選択された方はQ7にお進みください。	毎日	週に3～4日	週に1～2日	月に1～2日	数か月に1日	読まない	
		媒体の現状を確認し、紙媒体及び電子媒体の普及必要性等を検討するため。	Q6	【「毎日」～「月1～2日」を選択された方にお伺いします】 あなたは紙書籍と電子書籍どちらをよく読めますか 一番近い状況をお答えください。	紙書籍のみ	主に紙書籍（電子も読む）	紙書籍と電子書籍は同程度	主に電子書籍（紙も読む）	電子書籍のみ		
		保護者の関わり状況を把握するため。ただし保護者の関わりがなくても読書している子もいるためクロス集計により確認する。	Q7	直近1年間の状況についてお伺いします。あなたは子どもの読書（雑誌、マンガ、記事除く）推進のために具体的にどのような行動をしていますか ※1つまで選択してください ※「当てはまるものはない」を選択された方はQ9にお進みください。	本を買ってあげたり、借りたりする	本と一緒に選ぶ	読んだ本や話題の本について話をする	読書のイベントに連れて行く	本をおすすめする	その他 ()	当てはまるものはない
		保護者の関わり状況を把握するため。	Q8	【「本を買ってあげたり、借りたりする」～「その他」を選択された方にお伺いします】 上記はどれだけの頻度でありますか	毎日	週に3～4日	週に1～2日	月に1～2日	数か月に1日		
	家庭内での	現状の読み聞かせの頻度を確認するため。なお、「月1～2日」までを読み聞かせしているとみなす。	Q9	直近1年間の状況についてお伺いします。あなた（家庭内の他の保護者含む）はどれくらいの頻度で子どもに読み聞かせをしますか。 ※「数カ月に1日」「読まない」を選択された方はQ13にお進みください。	毎日	週に3～4日	週に1～2日	月に1～2日	数か月に1日	読まない	
		媒体の現状を確認し、紙媒体及び電子媒体の普及必要性等を検討するため。なお、電子書籍の割合が多ければ図書室の電子書籍導入の根拠となる。また、電子書籍が多ければリテラシー講座や紙書籍の普及の必要性を検討する必要がある。	Q10	【「毎日」～「月1～2日」を選択された方にお伺いします】 あなたは紙書籍と電子書籍どちらでよく読み聞かせをしますか 一番近い状況をお答えください。	紙書籍のみ	主に紙書籍（電子も読む）	紙書籍と電子書籍は同程度	主に電子書籍（紙も読む）	電子書籍のみ		
		媒体の入手先を確認し、施策を検討するため。	Q11	【「毎日」～「月1～2日」を選択された方にお伺いします】 あなた（家庭内の他の保護者含む）は主にどのように読み聞かせの本（雑誌、マンガ、記事除く）を入手しますか ※1つだけ選択してください	書店・インターネット等で購入	図書館で借りる	購入・図書館はどちらも同じ程度	友人等から譲り受ける、借りる	（図書館以外の）本の無料サービスを利用する	その他 ()	

区分	調査概要	質問の意図	番号	質問	選択肢						
	読み聞かせ 環境調査	読み聞かせの継続に繋げる方法を検討するため。	Q12	【「毎日」～「月1～2日」を選択された方にお伺いします】 あなた（家庭内の他の保護者含む）は読み聞かせ（雑誌、マンガ、記事除く）を継続する上で、どのような不安がありますか	本を選ぶのが大変	本を購入するお金や、借りる時間がない	読み聞かせの効果が分からない	その他 （ ）			
		読み聞かせを行っていないが必要性を感じている人は改善する可能性が高いと考えており、その割合を把握するため。	Q13	【「数カ月に1日」「読まない」を選択された方にお伺いします】 あなた（家庭内の他の保護者含む）は子どもにとって読み聞かせ（雑誌、マンガ、記事除く）は必要だと思いますか ※「思わない」を選択された方はQ15にお進みください	思う	思わない					
		上記対象者の課題を把握するため。	Q14	【「思う」を選択された方にお伺いします】 あなた（家庭内の他の保護者含む）が読み聞かせ（雑誌、マンガ、記事除く）をしていない理由は何か	本の選び方が分からない	読み聞かせの優先順位が低い	自宅等に本がない	子ども自身が読んでいて読み聞かせの必要がない	文字を読むのが難しい	その他 （ ）	
		読み聞かせを行わず、必要性も感じていない人への施策を検討するため。	Q15	【「思わない」を選択された方にお伺いします】 あなた（家庭内の他の保護者含む）が読み聞かせ（雑誌、マンガ、記事除く）を必要でないと 思う理由は何か（自由記述）							
	町図書室の 環境調査	図書館自体に利用価値を見出しているか確認するため。なお、継続調査で母数（必要性）の増減が分かる。	Q16	直近1年間の状況についてお伺いします。子どもが読む又は読み聞かせる本を借りるために図書館（全国どこでも）を利用しましたか ※「利用していない」を選択された方はQ27にお進みください	利用した	利用していない					
		利用した方の状況を場合分けするため。	Q17	【「利用した」を選択された方にお伺いします】 あなた（家庭内の他の保護者含む）が主に利用した図書室（図書館）は次のうちどちらですか ※「町外」を選択された方はQ22にお進みください	町内 （社会教育センター）	町外	どちらも同程度利用				
		他自治体住民の利用頻度や住民の利用率と比較するため。	Q18	【「町内」「どちらも同程度利用」を選択された方にお伺いします】 町の図書室はどれくらいの頻度で利用しますか	毎日	週に3～4日	週1～2日	月1～2日	数カ月に1日	その他 （ ）	
		図書館のどの部分に価値を見出しているか確認するため。	Q19	【「町内」「どちらも同程度利用」を選択された方にお伺いします】 町の図書室を利用する主な理由は何ですか ※1つだけ選択してください	本の種類が豊富	くつろげて居心地がいい	本が探しやすい	職員の対応がよい	図書室が自宅から近い	その他 （ ）	
		次回調査との比較により施策の効果を確認するため。	Q20	【「町内」「どちらも同程度利用」を選択された方にお伺いします】 町の図書室の満足度として一番近いものは次のうちどれですか	不満	やや不満	どちらとも言えない	やや満足	満足		
		町図書室の強み・弱みを把握するため。	Q21	上記満足度の理由は何ですか（自由記述） ※Q17で「町内」を選択された方はQ28にお進みください							
		他自治体における住民以外の利用頻度や利用率と比較するため。	Q22	【「町外」「どちらも同程度利用」を選択された方にお伺いします】 町外の図書館はどれくらいの頻度で利用しますか	毎日	週に3～4日	週に1～2日	月に1～2日	数か月に1日	その他 （ ）	
		図書館のどの部分に価値を見出しているか確認するため。	Q23	【「町外」「どちらも同程度利用」を選択された方にお伺いします】 町外の図書館を利用する主な理由は何ですか ※1つだけ選択してください	本の種類が豊富	くつろげて居心地がいい	本が探しやすい	職員の対応がよい	図書館内の催しが多い	その他 （ ）	

区分	調査概要	質問の意図	番号	質問	選択肢						
社会		町図書館利用の満足度と比較するため	Q24	【「町外」「どちらも同程度利用」を選択された方にお伺いします】 町外の図書館の満足度として一番近いものは次のうちどれですか	不満	やや不満	どちらとも言えない	やや満足	満足		
		町図書館の強み・弱みを把握するため。	Q25	上記満足度の理由は何ですか（自由記述） ※「どちらも同程度利用」を選択された方はQ28にお進みください							
		町の弱みを把握するため。	Q26	【「町外」を選択された方にお伺いします】 町の図書館を利用しない理由は何ですか ※1つだけ選択してください ※Q28にお進みください	本の種類が少ない	くつろげず居心地が悪い	本が探しにくい	職員の対応がよくない	催しが少ない	町に図書室があるのを知らなかった	その他（ ）
		図書館自体を利用したことがない人への施策を検討するため。	Q27	【「利用していない」を選択された方にお伺いします】 図書館を利用しない主な理由は何ですか ※1つだけ選択してください	子ども自身が本を読まず、読み聞かせもしない	本（紙・電子書籍）は借りずに、購入している	本は友人等から譲り受けている、借りている	（図書館以外の）本の無料サービスを利用している	子どもを連れての利用が大変	その他（ ）	
		施策案の情報収集をするため。	Q28	他の図書館で実施している設備、催し等で町の図書室に取り入れてほしいことはありますか（自由記述）							
	読み聞かせ会の調査	次回調査との比較により施策の効果を確認するため。	Q29	直近1年間の状況についてお伺いします。社会教育センター幼児遊戯室で月に1～2回開催している読み聞かせ会（絵本の森・ゆめっ子主催）に参加したことはありますか ※「ない」を選択された方はQ33にお進みください	ある	ない					
		同上	Q30	【「ある」を選択された方にお伺いします】 どれくらいの頻度で参加していますか	毎月	2カ月に1回	半年に1回	年に1回			
		同上	Q31	【「ある」を選択された方にお伺いします】 満足度として一番近いものは次のうちどれですか	不満	やや不満	どちらとも言えない	やや満足	満足		
		読み聞かせ会の強み・弱みを把握するため。	Q32	上記満足度の理由は何ですか（自由記述）							
		参加しない理由を把握するため。	Q33	【「ない」を選択された方にお伺いします】 参加しない主な理由は何ですか ※1つだけ選択してください	家庭で十分読み聞かせをしている	効果が分からない	子どもを連れての参加が大変	これまで読み聞かせ会があることを知らなかった	その他（ ）		
		参加可能性のある割合を把握するため。	Q34	【「ない」を選択された方にお伺いします】 読み聞かせ会に参加したいと思いますか	思う	思わない					

※基本的に質問は集計時に誤解のない、質問の範囲が重ならない（MECEの考え）としている。